

表. 難病疫学研究の歴史

研究事業・年度	研究班の年度	研究班名・研究代表者
特定疾患 調査研究事業 1972(昭47)～	1972～75 (昭47～50)	特定疾患疫学調査協議会 【世話人】 重松逸造(国立公衆衛生院・疫学部長) 山本俊一(東京大学・疫学教授)
	1976～78 (昭51～53)	難病の地理病理学的環境科学的研究班 植松稔(北里大学・公衆衛生学教授)
	1979～81 (昭54～56)	難病の疫学調査研究班 植松稔(北里大学・公衆衛生学教授)
	1982～84 (昭57～59)	難病の疫学調査研究班 青木國雄(名古屋大学・予防医学教授)
	1985～87 (昭60～62)	難病の疫学調査研究班 青木國雄(名古屋大学・予防医学教授)
	1988～90 (昭63～平2)	難病の疫学調査研究班 柳川洋(自治医科大学・公衆衛生学教授)
	1991～92 (平3～4)	難病の疫学調査研究班 柳川洋(自治医科大学・公衆衛生学教授)
	1993～95 (平5～7)	難病の疫学調査研究班 大野良之(名古屋大学・予防医学教授)
	1996～98 (平8～10)	特定疾患に関する疫学研究班 大野良之(名古屋大学・予防医学教授)
特定疾患 対策研究事業* 1999(平11)～  難治性疾患 克服研究事業 2003(平15)～	1999～2001 (平11～13)	特定疾患の疫学に関する研究班 稲葉裕(順天堂大学・衛生学教授)
	2002～04 (平14～16)	特定疾患の疫学に関する研究班 稲葉裕(順天堂大学・衛生学教授)
	2005～07 (平17～19)	特定疾患の疫学に関する研究班 永井正規(埼玉医科大学・公衆衛生学教授)
	2008～10 (平20～22)	特定疾患の疫学に関する研究班 永井正規(埼玉医科大学・公衆衛生学教授)
	2011 (平23)	指定研究「今後の難病対策のあり方に関する研究」 分担研究「難病の頻度と分布および規定要因に関する調査研究」 【分担研究班班長】 廣田良夫(大阪市立大学・公衆衛生学教授)
	2012～13 (平24～25)	自主的研究グループ「難病疫学研究会」 「難病の頻度と分布および規定要因に関する調査研究」 【会長】 廣田良夫(大阪市立大学・公衆衛生学教授)
難治性疾患 政策研究事業 2014(平26)～	2014～16 (平26～28)	難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究 中村好一(自治医科大学・公衆衛生学教授)
	2017～19 (平29～令和元)	難治性疾患の継続的な疫学データの収集・解析に関する研究 中村好一(自治医科大学・公衆衛生学教授)
	2022～ (令和4～)	自主的研究グループ「難病疫学研究ネットワーク」 【代表世話人】 福島若葉(大阪公立大学・公衆衛生学教授)
	2023～25 (令和5～7)	難病疫学研究の適正推進に資する情報や知見の普及・啓発に関する研究 福島若葉(大阪公立大学・公衆衛生学教授)

\*1999年度から「厚生(労働)科学研究費補助金」による事業となる

(2024年8月現在)